

本渡北地区振興会



広瀬川の両岸に咲くツツジが5月上旬に見ごろを迎えます。昭和50年11月に植えられたツツジは、これまで37年間、今釜区と広瀬区のみなさんによって、剪定や除草作業などの維持管理をされてきました。  
昨年度には、「熊本景観賞」も受賞されており、約1kmにおよぶツツジは見事です。広瀬川のツツジロードをお散歩コースのひとつに入れてみてはいかがでしょうか。

宮地岳地区振興会

数年前からかかし作りに取り組んでおられますが、3月30日(日)から5月8日(木)まで、宮地岳かかし広場(豆木場自治公民館周辺)で、かかしの展示があります。  
4月27日(日)、29日(火)、5月3日(土)から6日(火)には、地元の方々によるパザーもあります。連休の思い出に、ご家族みなさんで「かかし」に会いに行ってみてはいかがでしょうか。



「本渡まちづくり協議会の香員を公募します。」

本渡まちづくり協議会は、本渡地域内の各町地区振興会の会長と公共団体の代表者、公募委員の合計20人で構成され、地域づくりの企画・立案をはじめ、住民と行政との協働によるまちづくりを推進する役割を担うものです。任期終了に伴い、協議会の委員を下記のとおり公募しますので、まちづくりに興味のある方のご応募をお待ちしております。

**募集定員：**2名程度  
**応募要件：**日本渡市内に住所を有し、20歳以上の方  
**応募期限：**平成26年4月30日(水)  
**応募方法：**官製はがきに住所、氏名、年齢、職業、応募の動機を記載し〒863-8631 天草市役所 まちづくり支援課 まちづくり係へお送りください。

※詳細は同課、同係 TEL0969-23-1111(内線1343)へお問い合わせください。なお、応募者多数の場合は、本渡まちづくり協議会にて選考を行います。

卒業式!!  
編集後記

今年、小学校6年生の娘が卒業式を迎えました。月日が経つのは本当に早いもので、この学校1年生になった時、この本渡まちづくり協議会だよりを出し、1号を作ったことを思い出し、す。娘は、小学校で6年間過ごさせていただいたき、身体的にも間的にもびっくりするほどの成長を遂げました。私は「腹回りしか成長していかない」。大洗の村田さんが言われました。大洗村田さんと学ばせていただきました。あり、娘の卒業とともに私も心機一転、かっこよくまではいかないとも、せめて楽しい人生にしたいなと思います。時には、立ち止まってゆっくり深呼吸でもしてみたいなと思います。今年、新しい気持ちで頑張ります!!

ほんどのいま

平成26年1月1日現在  
(H25.7.1との比較)

【本渡南】	男.....4,264人 (+103) 女.....4,939人 (+93) 計.....9,203人 (+196) 世帯数...3,969 (+113) 高齢化率...28.4%
【本渡北】	男.....5,182人 (-37) 女.....5,760人 (-55) 計.....10,942人 (-92) 世帯数...4,554 (-48) 高齢化率...21.3%
【亀場】	男.....2,044人 (+8) 女.....2,355人 (+7) 計.....4,399人 (+15) 世帯数...1,763 (+7) 高齢化率...21.1%
【柙宇土】	男.....359人 (-12) 女.....365人 (-8) 計.....724人 (-20) 世帯数...272 (-9) 高齢化率...37.8%
【志柿】	男.....1,443人 (-8) 女.....1,661人 (+5) 計.....3,104人 (-3) 世帯数...1,256 (-9) 高齢化率...27.3%
【下浦】	男.....890人 (-7) 女.....996人 (-8) 計.....1,886人 (-15) 世帯数...762 (-6) 高齢化率...39.5%
【楠浦】	男.....1,207人 (-10) 女.....1,359人 (-7) 計.....2,566人 (-17) 世帯数...1,008 (-7) 高齢化率...32.2%
【本町】	男.....908人 (-1) 女.....1,004人 (-14) 計.....1,912人 (-15) 世帯数...857 (-13) 高齢化率...33.0%
【佐伊津】	男.....1,612人 (-3) 女.....1,844人 (-8) 計.....3,456人 (-11) 世帯数...1,438 (-12) 高齢化率...32.3%
【宮地岳】	男.....288人 (-5) 女.....299人 (-3) 計.....587人 (-8) 世帯数...261 (-3) 高齢化率...44.8%
【合計】	男.....18,197人 (+28) 女.....20,582人 (+2) 計.....38,779人 (+30) 世帯数...16,140 (+13) 高齢化率...27.3%

編集・発行  
本渡まちづくり協議会  
【事務局】  
天草市地域振興部  
まちづくり支援課(まちづくり係)  
〒863-8631  
熊本市東区東浜町8-1  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-24-3501

日本の「宝島」あまくさ  
ほんど  
まちづくり協議会だより



厳しかった冬も終わり、春の話題が聞かれるようになってきました。今季の寒さも、地球温暖化の影響による偏西風の蛇行が原因だとのことです。  
天草市になってから8年が過ぎようとしています。地域の課題解決に向けて、行政も、地域の皆さんも一緒になって努力をしましりました。しかし人口の減少はなお加速的に進んでいます。日本全体が人口減少の時代に入った今、持続可能な天草を残していくためには、どうすればいいのかが、官と民が一体となって取り組まなければなりません。それには考え方や見方を少し変えて、異なった切り口から問題の解決方法を探っていく、楽しみながら地域づくりができるのではないのでしょうか。  
昨年暮れ、本渡まちづくり協議会で、福岡の朝倉市と大刀洗町に研修に行きました。朝倉市では、若者を対象に青年講座「僕らの楽校」が創設され、「誰かの夢をみんなでかなえよう」を合言葉にさまざまな取り組みが展開されていました。またお隣の大刀洗町では自治振興係長村田まみさんから、取り組みを聞きま

した。大変参考になったので、さっそく2月に本渡へ来ていただき、新しい話し合いの手法(ワールドカフェ)を使って、まちづくり講演会を開催いたしました。「すべての人に居場所と出番のある社会をつくる」「好きなこと+やってみたいこと+地域によいこと+ちよつとの経済」をめざして取り組みを展開、地に足を付けて生活する、どんな暮らしがしたいですか!課題を解決するために何をするかという課題解決型ではなく、私は何をしたいかを考えたほうが楽しい、それを実行していけば、自ずと課題の解決につながっていく、このようなことを楽しく話されました。これは私たちがこれから地域づくりをしていくうえでの大事なキーワードではないのでしょうか。  
私たちも、村田さんのように未来創造型で地域づくりに取り組むなら、楽しみながら問題が解決されて、住みやすい素晴らしい天草を未来に残していけるのではないのでしょうか。  
これかもなお一層のご指導、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



Vol.12  
2014年4月1日号

CONTENTS

- 会長あいさつ ..... 1
- 本渡まちづくり研修事業報告 2~4
- まちづくり・地域づくり表彰 ..... 5
- まちづくり講演会 ..... 5
- ほんどの振興会は「元氣」バイ! ..... 6~7
- お知らせ ..... 8

# 本渡まちづくり 研修事業報告

本渡まちづくり協議会では、平成25年度においても「ひとづくり」を中心とした事業を行いました。そのなかの一事業である「まちづくり研修事業」についてお知らせします。

この事業は、「地域づくり」に触れていただく機会を設けることでより身近に感じていただき、また、市内の他地区振興会と交流することにより、地域づくりのちょっとしたヒントにさせていただければということで、事業を行ってきたものです。

この事業も、5年目を迎え、天草市内の各地区振興会との交流を続け、本年度で15か所を訪問しましたこととなります。



①福連木里づくり振興会(天草)との交流  
日 程…7月30日  
参加者…24人参加

福連木里づくり振興会は、137世帯、401名(70歳以上は137名)の地域で、高齢化が進んでいるとのことで、昨年の3月には、地域のシンボルであった小学校が閉校し、学校行事と地域が離れてきているのを強く感じるとのことでした。できれば子供たちを巻き込んで実施してほしいとの意見もありますが、現実的には学校行事も多く、厳しい現状

で、今後の課題ではないかと話をさせていただきました。福連木里づくり振興会では、樫の木を使った炭焼き事業や市のチャレンジ支援事業を活用し、地域の「ごちそう事業」として、昔からの郷土料理をレシピ集にするなど、地域に合った事業を展開されています。地域の「ごちそう事業」では、そのレシピ集を利用し、子どもやお母さん方の料理教室を開催されていました。

環境が美しく、鬼池で生活する人、鬼池を訪れる人にやさしくあつてこそこのまちづくりであるとの理念の下、清掃活動や海の環境保全活動などに力を入れておられました。鬼池を訪れる人にやさしく、とあるように、住民以外の方が鬼池にいても避難できるような看板を作成し設置したり、ウォーキング大会を開催しおもてなしをするなど、訪れた方への気配りは素晴らしいと思いました。

②鬼池まちづくり振興会(五和)との交流  
日 程…10月9日  
参加者…23人参加



他にも、今年度から市のチャレンジ事業を活用し、コミュニティビジネスにも挑戦されているそうです。もともと、熊本県下のピワ産地でしたが、生産者の高齢化や後継者不足により、衰退している「ピワ」に注目し、これまでピワと共に暮らしてきた鬼池地区の新たな活性化への道は、「ピワ産地の復活」による地域再生しかない。ということ、地域一丸となつて取り組んでいくとの話がありました。

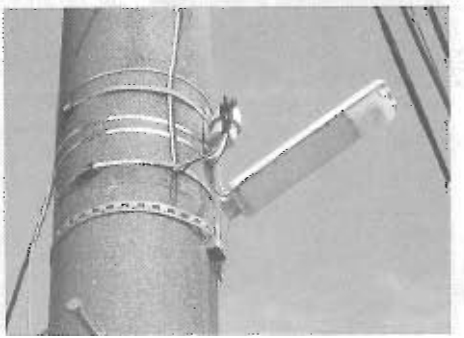


下津浦ひな人形展の前で。

有明でも有数の高齢化率というところもあり、これまでの事業を見直し、ふたつの事業をまとめたしながら、交流人口の増加を図っていました。

下津浦といえば、延長1キ口を超える「彼岸花ロード」。秋祭りとして地域内外へPRされています。春には、地域のグラウンドゴルフ大会と子どもたちを対象にしたイベントを合わせて開催し、春祭りも開催されているそうです。特徴的なことは、各イベントのスタッフに子どもたちが参加し、来場された方を子どもたちがおもてなしをするそ

うです。そこには、子どもたちはもとより、保護者である地区の子ども会の皆さんの協力があるからこそ運営できているとのことでした。当日は、3月上旬の寒い中でしたが、ひな人形展を見させていただきました。本当であれば片づけが済んでいる時期。私たちの視察のために期間を延長していただいたのか。訪れる方をおもてなす。そんな温かさを感じる研修になりました。



③下津浦地区振興会(有明)との交流  
日 程…26年3月4日  
参加者…22人参加

彼岸花で知られる「下津浦地区振興会」では、地区振興会内の組織を、実行部会として、産業育成部会、交流部会、防災安全部会の3つの部会にし、委員会として広報委員会、地域資源活性化委員会のふたつの委員会を設置して、振興会の運営をされています。

彼岸花で知られる「下津浦地区振興会」では、地区振興会内の組織を、実行部会として、産業育成部会、交流部会、防災安全部会の3つの部会にし、委員会として広報委員会、地域資源活性化委員会のふたつの委員会を設置して、振興会の運営をされています。



## あひらせ 省電力で長寿命！LED防犯灯が導入されました。

天草市では、LED導入促進事業により市が保有する約1万灯の防犯灯についてLED防犯灯への切り替えが行われました。この事業は環境省の補助を受けて、省エネで長寿命のLED防犯灯が導入されたもので、LEDは従来の蛍光灯や白熱灯と比較すると省電力で長寿命のため、環境負荷の削減と併せ維持費の削減が図れるものです。これまで、行政区長さんや市民の皆さまには、器具不良や球切れ等により大変ご迷惑をお掛けしていましたが、今後はこのようなトラブルが大幅に減少すると考えられます。なお今後、不点灯などの異常を発見された場合は、防犯灯の保守管理を天草電気工事業協同組合にお願ひしてありますので、同組合へ直接ご連絡ください。

◆天草電気工事業協同組合  
☎0969・22・2838

# 市外研修

まちづくり研修のひとつに「市外研修」があります。天草市外の先進地を研修し、それぞれの地区振興会の事業に活かしていただくためのものです。本渡地域内の10の地区振興会で参加者を募集し実施しているものです。

本年度は、楽しみながら地域づくりに取り組んでおられるふたつの地域を視察しました。

○僕らの楽校（がっこう）

福岡県朝倉市

僕らの楽校というのは、朝倉市の教育委員会が毎年募集し開催している青年講座のことです。20代から40代を対象に開催されています。講座開設は、「若手をどうやって取り込めるか」が出発点で、天草市であれば青年団のようなもの。まちづくりをしたい人、集まらないか？と集まったメンバーで楽しいことをしよう！とそんな楽しいこととなら：メンバーが集まる地域



市外研修の参加者（大刀洗町役場の前で）

に貢献するようなこともしたいですね！という方向へ進んでいったとのことでした。

毎年6月から講座が始まり、最初の2〜3回は市が内容を考え募集されるのですが、後半については、自分たちが学びたいことを考え、自分たちで学んでいくスタイルがとられています。とにかく楽しいことを、やりたいメンバーで集まり、責任者を選び、楽しみながら実施する。講座が出会いの場となり、いろんな経験をする。ここで学び、ふれあい、語り合い、そして、メンバーの思いを分かち合うことで、みんなで楽しみながら事業ができる話をされていました。

その中のひとつに、ギネス記録へのチャレンジがあります。ひとりじゃできないことも、みんなでやれば何とかなる。誰かの夢をみんなで叶えよう！という声から、『0946（ギネスチャレ結）への挑戦がはじまり、当日は、1039人で1040脚』がギネス記録として認定され、地域のさらなる絆が深まったそうです。



大刀洗町での研修



朝倉市での研修

世界中の人々と電波で繋がることが当たり前の世の中になつていく。しかし、どれくらいの方がお隣さんやご近所さんの事を「ご存知でしょうか。だからこそ、両隣の人と繋がりを、声を掛け合って、ひとつの目標を成し遂げる。それが、私たちが伝えたいメッセージを体現したものであり、『0946（ギネスチャレ結）です。』とありました。

青年講座が生んだビッグチャレンジ！。それでも、やりたいと思っただけが言った一言に賛同したメンバーで楽しみながらやったこと。ここに、まちづくりの秘訣があるのではないかと感じた朝倉市での研修でした。

○三井都大刀洗町

大刀洗町では、町長が自立のまちづくり推進に力を注がれていることから、大刀洗町での取り組みを自治振興係長の村田さんが説明されました。当日は、日曜議会の開催中ということもありお一人での対応でしたが、今までは違う説明で視察研修をすることができました。

大刀洗町では、「すべての人に居場所と出番を」を念頭に、まちづくりに取り組まれていました。

大刀洗町でのまちづくり会議では決り事があり、『未来会議3カ条』というのがありました。①未来を語ること。②（昔はこうだった。ではなく、これからはどうしようという感じで話す）。③人をはめること。（自分の思いや意見と違っても、とりあえず一度自分の中に取り入れてみる。そうだね！その意見いいね。④断定はしない。（そういうことはできない）とに、無理など発言しない）

①「生は楽しくかっこよく」とあり、楽しいことをやっているうちに、地域の課題は自ずと解決していく。課題を解決しよう、課題解決するために、考えるよりも、これをしてい！、こうしたい！と考えることで、課題の解決につながることをやりました。職員がきっかけを作ったり、あとは皆さんで頑張りますよ！という仕組みが、うまくできているなと思いました。朝倉市と同じように、ここでも、



大刀洗町自治振興係長 村田まみさん



秋月城下町のまちあるき体験



秋月城下町「朝倉市」

楽しいことをやるメンバーの集まりがあり、大刀洗では「大人の部活動」として取り組まれていました。『やつてみたい！をやってみよう！』にすることが大事で、小さく始めて、大きく広めることで、一緒に楽しみたい仲間が増えていくようでした。

コミュニティセンターの活動を見える化する（情報をどんどん発信すること）も大事で、利用者にとことん使ってもらおうことでも、もってくるそうです。

何もなければ何でもできる。逆の発想で様々な取り組みをされていますが、すべてにおいて楽しんでいくことがキーワードのように感じました。説明いただいた村田係長さん本人も楽しんで話をされていたのが印象的でした。

研修の最後には、2日間の研修の振り返り（2か所の研修を通じて感じたことなどを振り返ってみたい）をしていただき、明日から自分ができること！を、研修に参加された皆さんに考えてもらったりと、これまでにない市外研修になりました。

# 「まちづくり・地域づくり表彰で優秀賞を受賞！」

## ～「サマーキャンプ富岡往還」本町地区振興会～

昨年11月、天草市まちづくり協議会連絡会が主催しました、「天草市まちづくり・地域づくり表彰」で、本町地区振興会の『サマーキャンプ富岡往還』事業が優秀賞を受賞されました。

この事業は、平成14年度から実施され、昨年で12回目を迎えました。子どもたちに野外研修をさせようと先人達がたどった富岡までの17kmの山道を、本町の歴史や自然に触れながら歩き、寺での集団宿泊やボンファイヤー、ペーロン体験などが実施されています。



まちづくり・地域づくり表彰を受ける鶴田会長（本町地区振興会）

# ◆まちづくり講演会

2月19日

肥後銀行天草支店  
参加者 153名

講師  
大刀洗町役場  
地域振興課自治振興係  
係長 村田まみさん

『まちの人を泣くほど喜ばせたい！』

毎年開催しています講演会ですが、本年度は通常の聞くだけの講演会ではなく、参加しながら、考えながら、楽しめる講演会を開催しました。

講師は、まちづくり研修で視察させていただいた大刀洗町の自治振興係長 村田まみさんの取り組みに共感したためお願いしたもので、ワールドカフェ方式という初めての試みでした。

ワールドカフェ方式とは、5〜6人のグループになり、カフェのような雰囲気の中で参加者が話し合っていく手法です。当日は、テーブルクロスに見立てたクラフト紙に、自由に意見を書いたり、お菓子を食べながらという、まさしくカフェの雰囲気の中での講演会となりました。また、今回は参加賞として、春まきの花の種を配布しました。

講演会では、講師の話題提供をさきながら、それぞれのグループでの話し合いを行い、

途中では、より多くの方と話ができるように席替えもしながらの講演会でした。最初はなかなか話も弾みませんでしたが、時間が経つにつれて楽しい会話が飛び交うほどに。参加者の中には熊本市内から参加された方もいて、とてもいい経験になりましたと話しておられました。

最後に、「明日から、あなたは何をやる？」という講師の話題提供があり、各個人で明日からやりたいことを用紙に書いて終了となりました。

「せっかく講演会に来てもらったんだから、聞いて、話して、書いてもらわないと！」と村田さん。

参加された皆さん。ワールドカフェ方式の講演会はいかがでしたか？楽しかったり、恥ずかしかったり、でも、何かを感じたり気づいたりがあった講演会ではなかったでしょうか。

本渡地域のまちづくりは、本渡地域にお住まいのみなさんが『主役』です。難しく考えず、地区内であいさつを交わしたり、家の前の道路をちよつと掃除してみたり、花を植えてみたり……。まずは、できることから楽しみながらまちづくりに参加してみませんか？講師が言われました。

『未来創造型で人生楽しくかっこよく！！』  
そんな楽しい、未来創造型のまちづくりを展開していけたらと感じた講演会でした。



グループで話し合いました。発表される武内さん（熊本中） 講演会の様子 参加賞の花の種 ワールドカフェ方式の会場

### 石工・ほんかんの里 第22回下浦町ふるさと祭り開催

下浦地区振興会 会長 富安 英 猛

2月2日、下浦運動広場において第22回下浦町ふるさと祭りを開催し、多くの来場者で賑わいました。町の特産である『石工』と『ほんかん』をPRするための産業祭として平成4年から毎年開催しています。

石工の部は、石玉を使ったボーリング大会、石の作品展示及び一般投票による表彰式、石窯で焼いたピザ、ほんかんの部は、ほんかんの販売はもちろん、ほんかんをどれだけ高く積み上げられるかを競うボンカンピラミッド大会、ほんかんの果汁と皮を練りこんだほんかん餅の販売も行いました。

また、食べ物に重点を置き、豚汁、うどん、がねあげ、焼き芋、焼きそば、牛丼、鮮魚など、沢山の食品の出店もありました。

その他にも、キャプテン海道くんのジャンケン大会や、歌手の榎木美優さんのステージ、天草市役所のハイヤ部によるハイヤ踊り、町民芸能SHOWなど様々なイベントで盛り上がりました。

来年度は更に良いものにしようと企画を練っています。是非ご期待ください。



石玉を使ったボーリング大会

### サマーキャンプ富岡往還「鈴木三公の足あと」

本町地区振興会 会長 鶴田 正 人

本町には、鈴木三公を祀ってある鈴木神社があります。天草島原の乱後、天領となり初代代官重成公、二代目重辰公(しげとき)三代目重三公を祀り360年を迎えました。初代代官時に天草島民は希望もな<sup>く</sup>420万石の重税に苦しみ、明日を見失っていました。そこに重成公の兄正三和尚の助力を得て天草を復興し石高も半減されました。それには重成公の甚大なる貢献があったと記されています。

島民の心身回復に尽力された正三和尚は名刹松葉山東向寺に建立(ごんりゅう)してあります。

富岡往還の目的は子供達に、「鈴木三公の足あとをたずね」屋外勉強会の一環とし、次世代に継承するのが趣旨です。

本町まちづくり実行委員会が平成14年に創設し、本渡岳友会の支援、保護者、本町小学校と連携し12回実施(悪天候時2回中止)しております。

江戸時代に代官所があった富岡、本渡間役17キロの代官道を走破します。子供の対象者は体力的な事も考慮し、小学3年生から6年生に参加をして頂き本町小外からの参加もあります。

7月上旬、中旬に実施しますから子供達の安全、体調管理に配慮し安心して子供達を預けて頂くよう主催者は第一に考慮しております。



【サマーキャンプ富岡往還】の参加者たち。

### 佐伊津の町をきれいに！

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊 裕

12月22日、「佐伊津町ピカピカ大作戦」を実施しました。これは、小学生並びに地元有志の参加により町内沿道の空き缶や紙くずなどのゴミを拾う活動で、毎年年末に行っています。今年参加してくれたのは、小学生125人、大人約50人。9コースに分かれて、2時間程度国道沿いや地区内の道路のゴミを拾いました。集まったゴミは約100kg。紙くずが一番多かったものの中にはこんなものまで・・・と思われるゴミもあり子ども達もびっくり！

終了後は、婦人会の方々が用意されたぜんざいを食べて冷えた身体を温めました。このような活動を通して子どもの健全育成を図っていききたいと考えています。



もう落ちていないかな？

### 楠浦オープンギャラリーを新設！

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦 照

楠浦地区振興会では、芸術に感心を深めてもらい多くの人に楠浦を訪れてもらおうと、町内の目抜き通り6カ所に誰でも絵画を展示できるパネル『楠浦オープンギャラリー』を新設しました。2月19日、稜南中美術部の皆さんの絵画展示式を開催しました。今後、歴史文化・芸術文化の町として情報を発信し、交流が盛んになり人が輝き、地域が輝ければと考えています。絵画は、①楠浦小駐車場②県道26号・278号交差点③新田八坂神社前④立浦自治公民館前⑤舟津漁村センター⑥錦島グラウンドに展示していますので、皆さんどうぞご覧ください。



稜南中美術部の皆さん

# ほんどの振興会は

### 第27回 本渡南地区ミニバレーボール大会を開催！

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅 晴

2月16日、天草高校体育館で『第27回本渡南地区健康づくりミニバレーボール大会』を開催しました。今年は22チームが参加し、白熱した戦いが繰り広げられました。フリーの部の決勝は船浜チームと古川チームが対戦。船浜チームが4連覇を目指す古川チームを31対27で破り見事初優勝!! 45歳以上の部の決勝は内柿チーム同士の対戦。試合は和やかな雰囲気が進み、内柿Aチームが2年ぶりの優勝を果たしました。大会後はそれぞれのチームで反省会を行ない、試合での好プレー・珍プレーを振り返りながら、楽しい1日を過ごし、大会の目的である地域住民の親睦と融和を深めることができました。



それっ!! (大会のようす)

### 便利な“スマホ”。自分で賢く使って！

本渡北地区振興会 会長 鶴田 克 幸

2月23日、「家庭教育講演会」を本渡北小学校体育館で開催し、同校5・6年の児童や保護者など約400人が参加しました。今回は、熊本市立総合ビジネス専門学校教頭・安心ネットづくり促進協議会特別会員の桑崎剛氏が「スマホ(スマートフォン)とSNS時代・情報モラル教育は？」と題して講演。桑崎氏は、青少年のスマホなどの所有状況やインターネットの利用状況等を説明した後、インターネットを通じた人間関係や情報発信のトラブルなどについて、実例を挙げながら紹介。また、「インターネット社会とうまく付き合っていくには、他人への配慮や人権の視点などが重要。自分自身で考え、スマホなどを賢く使ってほしい」と話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



児童たちに向いかけながら講演する桑崎剛氏

### 子どもたちの成長を願って

亀場地区振興会 会長 船元 聖 代

亀場地区振興会(青少年育成部会主管)では亀場町で育つ子どもたちの楽しい思い出づくりと健やかな成長を願い平成25年7月7日、10時より「七夕会」を開催しました。当日は幼児から保護者まで125名の参加があり大賑わいでした。七夕に関する紙芝居の後、幼稚園や保育園の先生方の指導で七夕飾りを作り、大きな笹竹2本に飾りつけました。昼食にはコミュニティかめば塾『まちの台所』の皆さんの協力により「そうめん流し」を楽しみました。普段はできない体験だったとみんな満足そうでした。最後にビンゴゲームをして終了しましたが、そうめん流し用の竹や笹竹の準備など有志の皆様協力にも感謝しています。平成26年2月23日には「おひな様会」も開催しましたが、これからも子どもたちの健全育成に地域全体で取り組んでいきたいと思っています。



もっと流して〜。(そうめん流しのようす)

# 「元気」バイ!

### 第2回 栢宇土町防災訓練

栢宇土地区振興会 会長 赤石 良 一

2月23日、「第2回栢宇土町防災訓練」が、自主防災会及び振興会主催により町民約150人の参加のもと、仮候自治公民館周辺で開催しました。

本訓練は、集中豪雨により地すべりが起き人的被害が発生したことや、他の場所においても土砂災害の危険性が高まったことを想定し、自主防災会の初動態勢や任務の確認、危険予知能力の取得など5つの努力目標を掲げ、災害時の自主防災会活動を構築するために実施しました。

午前9時に災害が発生したと想定し、対象区では、区長を中心としてけが人の搬送や要援護者避難の支援を行い、それぞれ決められた場所への避難と安否確認を行いました。全体訓練では、消火訓練や濃煙体験、炊き出しご飯の作り方、土のう訓練や災害時の市の対応など見て聞いて体験することができ、有意義な訓練となりました。



消火訓練のようす

### 「第1回 宮地岳かかしまつり」を開催。

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭 好

これまで毎年11月に開催していた、「宮地岳ふるさと健康まつり」をかかし村の開村に併せ、3月30日に「第1回 宮地岳かかしまつり」として開催。

約180体のかかしの展示のほか、大道芸師「はるちゃん」や地元在住の歌手「ハンピー」、子どもたちによるステージイベント。午前・午後と2回の餅投げや宮地岳の食材を使った食品バザーも実施。愛嬌あふれる「かかし」はもちろん、「天草の里山」宮地岳の魅力を堪能できる1日となったと思います。

なお、かかしの展示は、3月30日から5月8日までを予定しています。



昨年のかかし村のようす

### “男の”“高齢者の”料理教室を開催！

志柿地区振興会 会長 浦田 義 孝

1月17日、男の料理教室、2月13日、高齢者の料理教室を開催しました。これはどちらも健康のことを考えて、体にやさしいメニューを保健センターの金子さんに考えていただき、それを食生活改善推進委員さんにご指導いただきながら料理を作るというものです。

和気あいあいとした雰囲気の中、楽しみながら初めてのメニューに少し悪戦苦闘しながら作っておられました。その後、美味しい料理をいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。

メニューは「男の料理教室(おろし鍋・吉野煮・さつま芋のスープ)」「高齢者の料理教室(和風アクアパッツァ・たっぷりきのこのノンオイルマリネ・千切り大根の味噌汁)」レシピが気になる方は、志柿・瀬戸コミュニティセンターまでご連絡ください。



こら、うまかばい!!